

現場レポート

◆水際対策が重要

～東京オリ・パラ開催目前！ 川内港 テロ対策合同訓練及び港湾保安設備の点検～

○川内港テロ対策合同訓練

鹿児島県薩摩川内市の川内港に停泊した串木野海上保安部所属の巡視船「とから」を貨客船に見立て、乗客にテロリストが紛れ込んでいるという想定で、上陸直前に当該情報を入手した内閣官房危機管理チームから川内港港湾危機管理担当官に情報伝達があり、同港港湾危機管理メンバーの串木野海上保安部、薩摩川内警察署、福岡出入国在留管理局、鹿児島税関支署への通報及び県北薩地域振興局から埠頭事業従業者の避難、近隣地域住民への広報が行われました。

各機関は、港湾区域の警戒強化の巡視と機動班、審査官を現場に派遣、連携しながらテロリストの制圧に至るといふ合同訓練が行われました。

○川内港港湾保安設備点検

川内港は、主に紙・パルプ、木材チップを取り扱う港湾で、韓国コンテナ航路が週2便入港する外国貿易港であるため、国際条約により港湾施設に自己警備としての保安措置を義務付けられています。今般、テロ対策訓練後、関係機関合同による港湾保安設備の巡回点検が実施されました。

巡回点検後、参加機関の意見交換が行われ、今後の水際対策警備体制の強化を望む意見等が出されました。

○川内港テロ対策合同訓練風景



逃走するテロリスト艇を追跡する巡視艇



貨客船上でテロリストを制圧



テロリストを警察に引き渡し



移動式X線検査装置車両による手荷物検査

○川内港港湾保安設備点検風景



フェンスの設置状況を確認



巡回点検後の意見交換